

# 政府関係機関の地方移転について



栃木県

# I 栃木県の強み

- ① 本県産業の力
- ② 優れた交通アクセス
- ③ 安全・安心なとちぎ
- ④ 豊かな自然・充実した居住環境

2

# II さらなる成長に向けて

5

# III 提案機関

6

# IV 本県への移転のメリット

7

# V 移転候補地及び提案概要

- 移転候補地
- 提案1：森林技術総合研修所
- 提案2：（国研）理化学研究所（光量子工学研究領域）
- 提案3：（独）中小企業基盤整備機構
- 提案4：農林水産政策研究所

8

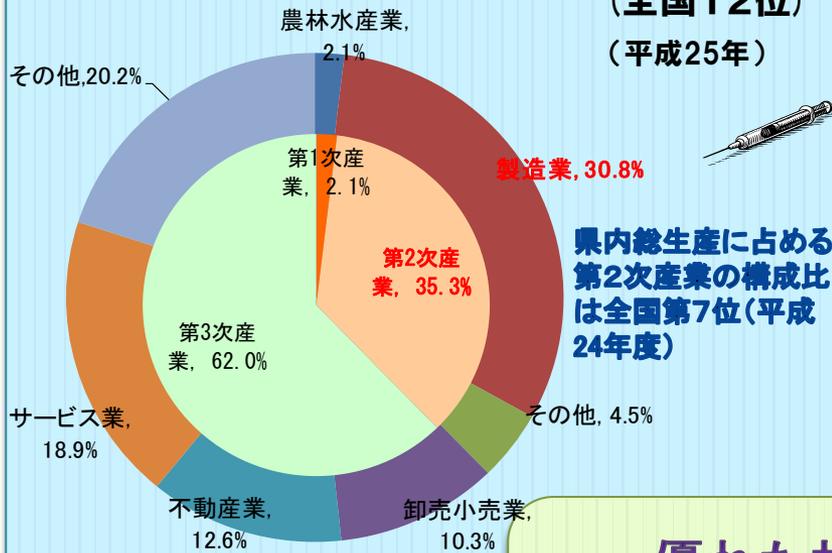


# I 栃木県の強み

## ①本県産業の力

### 多彩な産業の集積

【製造品出荷額等】 8兆1,795億円  
(全国12位)  
(平成25年)

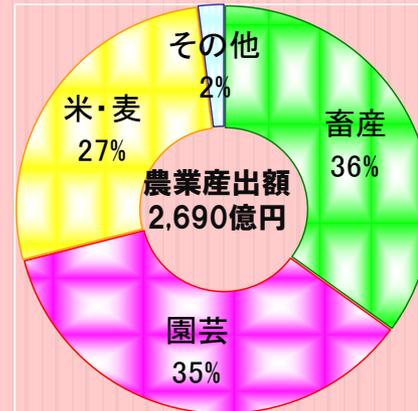


県内総生産に占める  
第2次産業の構成比  
は全国第7位(平成  
24年度)



### バランスのとれた農業

【農業産出額】 2,690億円  
(全国9位)  
「米・麦」、「園芸」、「畜産」のバラン  
スのとれた生産  
(平成25年)



品目	全国順位
いちご	1
かんぴょう	1
二条大麦	1
生乳	2
にら	2
こんにやくいも	2
スプレー菊	3
なし	5
肉用牛(飼育頭数)	6
トマト	6

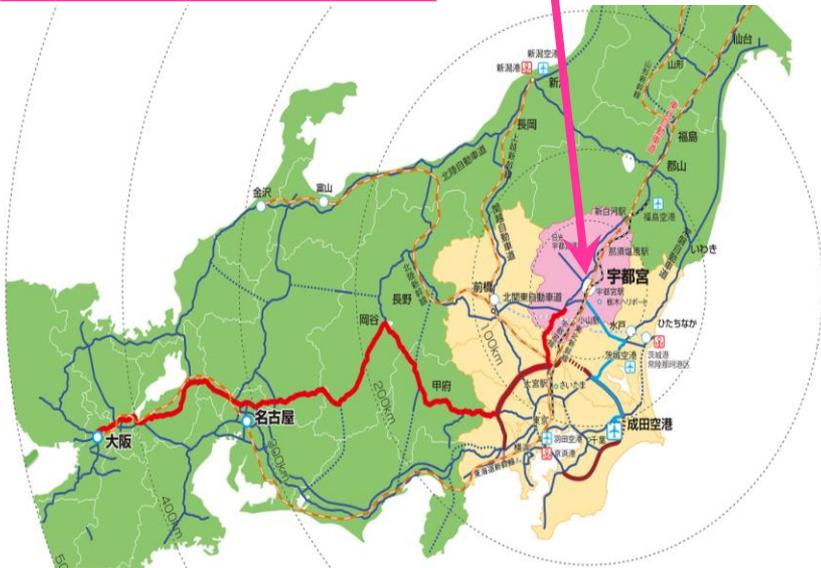
### 優れた林業・木材技術

【人工乾燥材出荷量】  
152千m<sup>3</sup> (全国1位)  
(平成26年度)



## ②優れた交通アクセス

- ◆東京から60~160km
- ◆新幹線で49分



東北・北関東自動車道で東西南北の道路網が充実

圏央道の開通で、変わる人とモノの流れ！

## ③安全・安心なとちぎ

地震や台風などの自然災害が少なく  
**安全・安心**

「今後30年間に  
震度6強以上に見舞われる確率」が  
**0.1%以下**

※県域西部の大半。県域東部は0.1~3%  
地震動予測地図(地震調査研究推進本部)

「地震保険の基本料率の等区分」は  
**最も危険度の低い一等地**

損害保険料率算出機構

## ④豊かな自然・充実した居住環境

一人当たりの県民所得:300.8万円 (全国7位)(平成24年度)

### 世界級の自然

- ・自然公園面積(全国4位)(平成25年度)
- ・ラムサール条約湿地「奥日光の湿原」「渡良瀬遊水地」
- ・国際的避暑地「旧イタリア大使館別荘」「旧英国大使館別荘」

温泉源泉数:629箇所(全国10位)(平成24年度調査)  
ゴルフ場数:人口10万人当たり6.99箇所(H17)  
(全国1位)(平成24年度調査)  
人口10万人当たりスポーツ施設数(全国2位)  
(平成25年)

1戸あたり敷地面積:387㎡  
(全国4位)(平成25年)

### 住宅地の平均価格

東京:317.0 栃木:33.5(千円/㎡)  
(平成26年地価調査)

### 充実した子育て環境

- ・妊産婦医療費助成(全国では本県を含め4県)  
妊娠届けが受理された月から出産した月の翌月までの医療費を助成
- ・こども医療費助成(全国トップクラス)  
小学校6年生までの児童の医療費を助成

## Ⅱ さらなる成長に向けて

### とちぎに安定したしごとをつくる

栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子案から

- ものづくり産業と並び、とちぎの経済を牽引する新たな成長分野の産業の創出
- 第1・2・3次産業のバランスのよい発展
- 経済成長の著しい東・東南アジアなどの活力をとちぎの産業の活性化につなげる
- とちぎの産業を支える企業の生産性を向上
- 若者、女性、高齢者、障害者等の潜在的労働力人口を雇用につなげる

# Ⅲ 提案機関

## 1. 森林技術総合研修所（東京都八王子市）

（所管：農林水産省）

森林・林業に関する唯一の国の研修機関として、森林・林業行政に係わる職員等を対象に総合的な研修を実施

## 2. （国研）理化学研究所（光量子工学研究領域）（埼玉県和光市）

（所管：文部科学省）

光科学技術を社会的課題を達成するツールとして活用するため、幅広い領域にわたる研究を実施

## 3. （独）中小企業基盤整備機構（東京都港区）

（所管：経済産業省）

中小企業施策の総合的な実施機関として、創業から事業再生、災害対策など様々な課題に合わせた支援を実施

## 4. 農林水産政策研究所（東京都千代田区）

（所管：農林水産省）

農林水産に関する総合的な調査研究を行う機関として、6次産業化や農業・農村の新たな機能・価値等に関する研究を実施

# IV 本県への移転のメリット

## 優れた交通アクセスと優位な立地環境

- ・本省等との迅速な連絡調整が可能であり、移転前の機能が確保
- ・全国各地からの交通アクセスがよく、研修・研究機関として最適
- ・安全・安心な居住環境

## 技術力の高い中小企業と研究者のマンパワーが集積

- ・県内優良企業等との連携や高度人材等の活用により、研究開発の加速化が期待
- ・全国有数のものづくり県である本県から、広く産業全体へ貢献

## 豊かな森林資源と競争力のある農の力の活用

- ・優れた地域資源の活用により、質の高い研修プログラムや研究効果が期待
- ・研修・研究効果を本県の施策に反映することにより、全国モデルの創出が期待

# V 移転候補地及び提案概要

矢板市・塩谷町  
・森林技術総合研修所



那須塩原市  
・農林水産政策研究所

宇都宮市  
・(国研)理化学研究所  
・(独)中小企業基盤整備機構

# 提案1: 森林技術総合研修所

## 本県のメリット

### とちぎの強みと可能性

### 豊かな森林資源・高い製材技術力

- ・高い品質を誇る豊かな森林資源(スギ・ヒノキ)
- ・森林面積が全国26位(平成24年)と中位にありながら、国産無垢乾燥材の国内有数の生産拠点として確固たる地位を構築
  - ◆森林面積 35万ha(県土の55%)
  - ◆製材品生産量(国産材)関東甲信越 **第1位**(平成26年)
  - ◆人工乾燥材(国産材)出荷量 全国 **第1位**(平成26年)

### 移転の効果



- ・林業の成長産業化・持続的発展に向けた高度な技術者の養成



- 成長産業としての林業・木材産業モデルの創出
- 成長を支える担い手の育成・確保

## 国のメリット(機能確保)

- ・優れた資源、既存施設を活用した質の高い技術研修の実施が期待
- ・北関東自動車道で結ばれた隣接県に所在する関連施設(森林総合研究所等)との一層の連携強化が可能
- ・交通アクセスの優れた本県は、国の研修機関として最適

## 関係機関

森林総合研究所  
(茨城県つくば市)



林業機械化センター  
(群馬県沼田市)



高原県有林・県民の森  
(矢板市・塩谷町)



栃木県林業センター  
(木材研究施設)

### 県民の森施設



栃木県21世紀林業創造の森(研修施設)

## 移転候補地

高原県有林・県民の森(矢板市・塩谷町)

- ・広大な面積を有し、現地研修箇所の確保が可能。また、県有林内の県民の森施設の使用が可能。



# 提案2: (国研) 理化学研究所 (光量子工学研究領域)

## 本県のメリット

### とちぎの強みと可能性

### 光産業の集積

- ・我が国を代表する光学機械器具・レンズ等のメーカーが立地
- ・光技術に特化した教育研究拠点が存在
- ・光技術を応用した産業用機器は製品の性能向上・高付加価値化等に貢献
  - 光学機械器具・レンズ製造業
  - ◆従業員数・製造品出荷額等 全国**第1位**
  - ◆事業所数 全国**第4位** (平成25年)

### 移転の効果



- ・理化学研究所の先駆的・専門的研究との連携
- ・高度専門人材の活用



- 我が国を代表する製造業や研究拠点との連携による光産業の発展
- 県内企業の更なる活性化

## 国のメリット(機能確保)

- ・本県に集積する光産業分野の企業や大学等の最先端技術研究との連携により、効果的な研究開発が期待
- ・多様な企業ニーズを踏まえた新たな研究分野の開拓が期待

## 関係団体・機関

光融合技術  
イノベーション  
センター  
(産官学による  
設置・運営)



宇都宮大学  
オプティクス  
教育センター

光技術に関する  
教育研究機  
関

光融合技術の  
実用化・企業  
化研究

とちぎ光産業  
振興協議会

光産業に関する産官学  
の連携

## 移転候補地

「とちぎ産業創造プラザ」  
近接地(宇都宮市)

産業支援拠点施設として整備した  
「とちぎ産業創造プラザ」近接地を  
活用



# 提案3：(独)中小企業基盤整備機構

## 本県のメリット

### とちぎの強みと可能性

### 元気な中小企業の宝庫

- ・卓越した技術力や製品を有する元気な中小企業が多数存在
- ・有数のものづくり県として、県内総生産や就業者数に占める第2次産業が高比率
- ・本県の産業・雇用を支える中小企業・小規模企業
  - ◆本県の企業数の**99.8%以上**、従業者数の**85.6%**を占める中小企業・小規模企業
  - ◆県内総生産に占める第2次産業の構成比 全国 **第7位** (平成24年度)
  - ◆小規模企業の従業者割合 全国**第12位** (平成24年)

### 移転の効果



- ・経営指導のノウハウやハンズオン機能の活用
- ・創業や第二創業の支援



- 経営の活性化による元気な中小企業等の創出
- 中小企業の経営力強化と雇用の創出

## 国のメリット(機能確保)

- ・元気な中小企業等が多数存在する立地環境を生かし、ものづくり等の中小企業のニーズを反映した企業向け相談や新規事業の展開などの施策の更なる展開が期待

## 関係機関



(公財) 栃木県産業振興センター

中小企業の総合的な支援を実施

栃木県産業技術センター

中小企業等の新技術・新製品開発等の支援拠点

「とちぎ産業創造プラザ」には複数の支援機関が入居

## 移転候補地

### 「とちぎ産業創造プラザ」近接地(宇都宮市)

産業支援拠点施設として整備した「とちぎ産業創造プラザ」近接地を活用



# 提案4：農林水産政策研究所

## 本県のメリット

### とちぎの強みと可能性

#### バランスのよい農業・多彩な地域資源

- ・大消費地である首都東京に近く、平坦で広い農地や豊富な水資源など本県の強みを生かし、米麦・園芸・畜産のバランスのとれた生産構造により農業を展開
- ・いちご専門の研究所をはじめ、米麦・園芸・畜産・水産の研究体制が整備。いちご「スカイベリー」、米「とちぎの星」、花「るりおとめ」など数多くのオリジナル品種を生み出す研究力。
- ・全国モデルの研究に最適な食や田園風景などの地域資源が豊富に存在し、「食の街道」や「田園風景百選」など地方創生の鍵となる地域資源を活用した農村地域活性化の取組が盛ん。
- ・女性活躍の場として農村レストランや農産物直売所で地場産農産物を活用したそばやジェラートなどを提供する取組が盛ん。

- ◆農業産出額 全国**第9位**(平成25年)
- ◆主要品目の生産量が**全国トップクラス**(平成25年)
  - ・いちご 全国**第1位** ・にら 全国**第2位**
  - ・生乳 全国**第2位** ・肉用牛飼養頭数 全国**第6位**
  - ・二条大麦 全国**第1位** ・飼料用米 全国**第1位**
- ◆農村レストラン施設数 全国**第7位**

### 移転の効果

- ・世界に通用する農業戦略等に関する調査研究の展開
- ・農山村の活性化や多面的機能の発揮に関する研究との連携

- 本県農業の国際競争力の強化
- 中山間地域等の維持・再生の全国モデルの創出

## 国のメリット(機能確保)

- ・バランスのよい本県農業のフィールドの活用と、集積する研究機関との連携により、実践的かつ高度な調査研究が期待

## 関係機関

栃木県いちご研究所



栃木県畜産酪農センター



栃木県農業試験場



栃木県県央家畜保健衛生所



栃木県水産試験場



## 移転候補地

### 那須塩原市内



- 農観商工連携による地域資源を生かした新たな産業創出の推進
- 研究機関の集積による機能向上が期待